

# 「バレーボールは人間をつくる」

バレーボールを道として選び  
それゆえに礼儀を重んじ  
コートで精神を鍛え心を磨き  
敵は相手ではなく自分であることを知り  
己に勝てる人間になりたい

他人よりも二倍も三倍も努力をし  
やらされる三時間よりも  
自ら進んでやる一時間の価値を知り  
最後までやり通して決してあきらめない  
根性のプレーヤーになりたい

失敗を人のせいにせず  
簡単なプレーほど慎重にあつかい  
同じミスを二度と繰り返さず  
人の気持ちになってものを考えられる  
心豊かなプレーヤーになりたい

練習とは人生の縮図と悟り  
今日できることは明日にのばさず  
研究と精進をおこたらず  
やれと言われたらすぐに行動できる  
プライドのあるプレーヤーになりたい

がまんの味をよく知っており  
ものを大切にす暖かな心を忘れず  
ライバルすら協力したくなるような  
人にほめられる  
たくましいプレーヤーになりたい

バレーボールは人間をつくる

「仕事の基本的な考え方をベースとした  
スポーツ指導者の在り方について」



田中 直樹



# 私が考えるスポーツ指導者の理想像

昨今、世相を反映し教育改革がよく叫ばれているが、教育を論ずる前に労働の価値と意義を子供や若者たちに教える必要性を強く感じている。多くの日本人が自分に与えられた仕事に打ち込み世のため人のために役立とうとすることは「生き方」の基本である。生きることと仕事との結びつきはあまりにも強く、仕事抜きにして人生を論ずることは難しい。

スポーツ(バレーボール)指導＝「社会」で生きる力の指導

指導の目的＝仕事や人生に結果を出せる人づくり



# 仕事の基本

人生、仕事の結果 = 「考え方」×「熱意」×「能力」

努力 = 正しい場所で正しい方向で十分な量をなされた努力は報われる

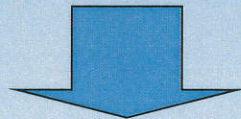
個人で勝負できる組織人たれ

厳しさとは結果を出すことである …… 努力を主観的に測らない

資本主義とは基本的に競争原理で動く社会

…… 競争を避けた生き方は社会の基本ルールに反している

人間在住の本質を理解したうえで、思いっきり競争し勝利を目指す生き方



働くとは自分を磨くことであり、自分の人生を仕事とは別と考えない



# 成功は科学である。

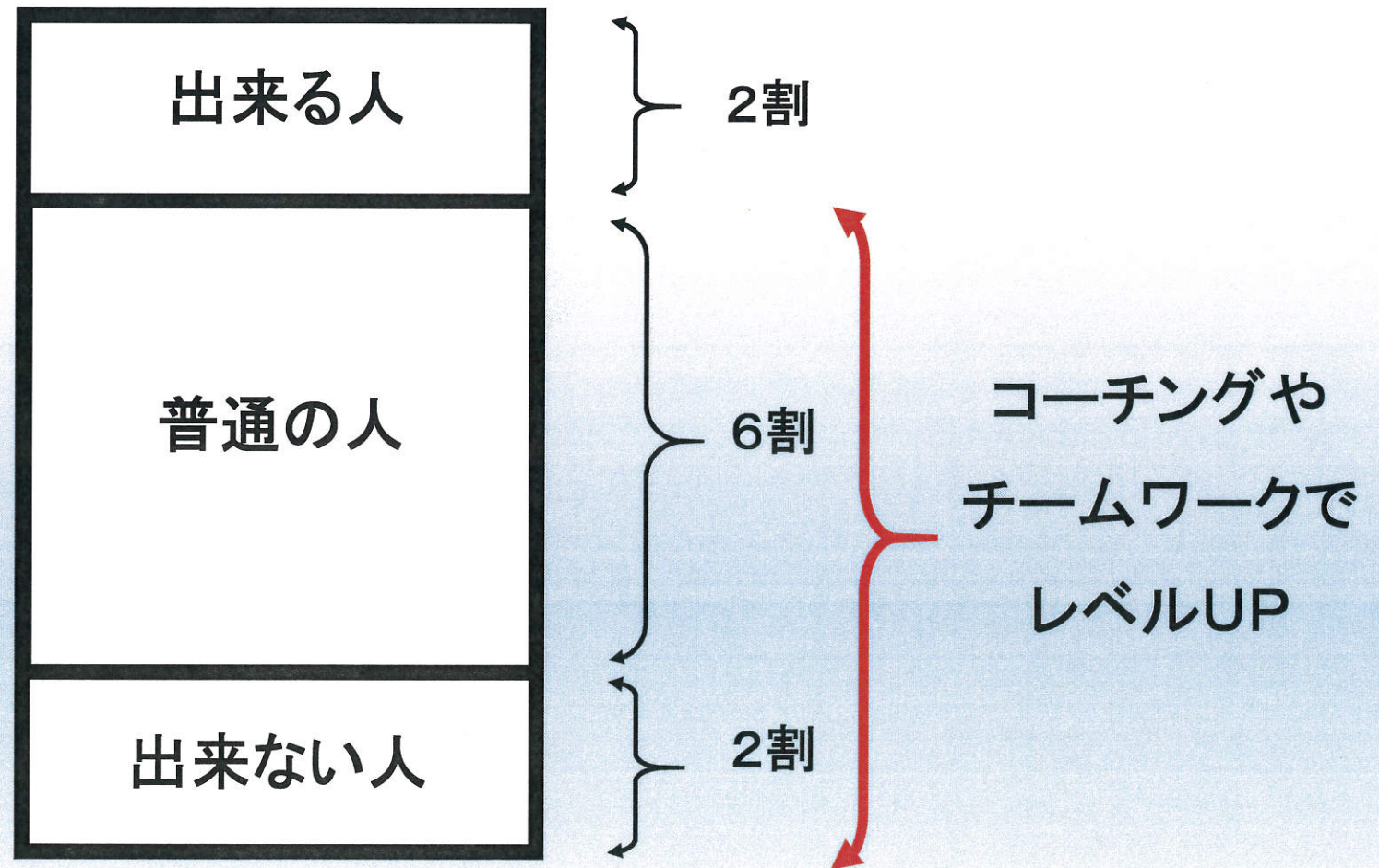
一定の原理にしたがえば、結果を出すことができる。

出身や性別、人種、年齢、学歴などに関係なく、  
誰においてもあてはまる普遍的な法則がある。

夢をかなえて思いどおりの人生をおくるための  
原理は一緒である。

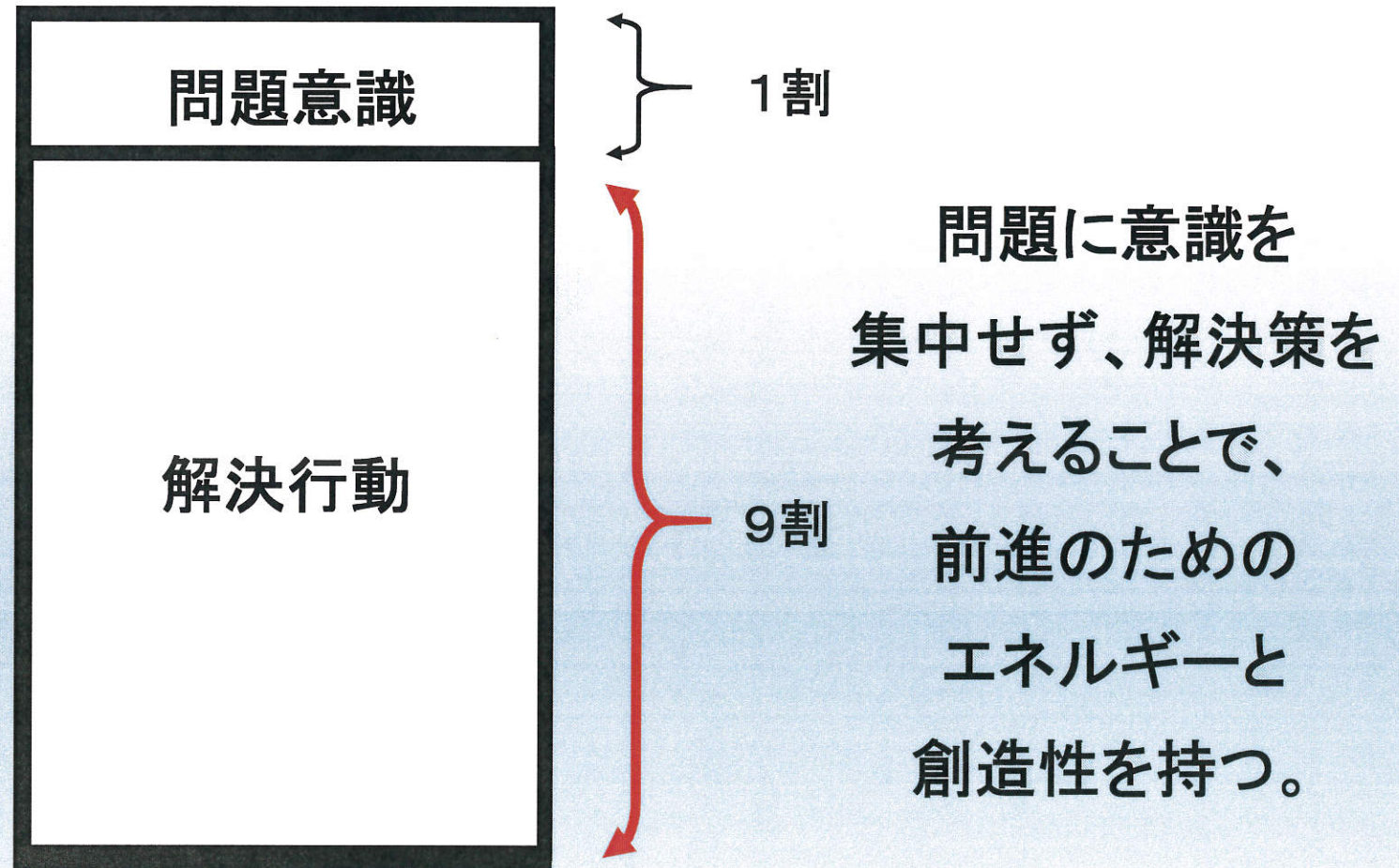


## 2・6・2の法則





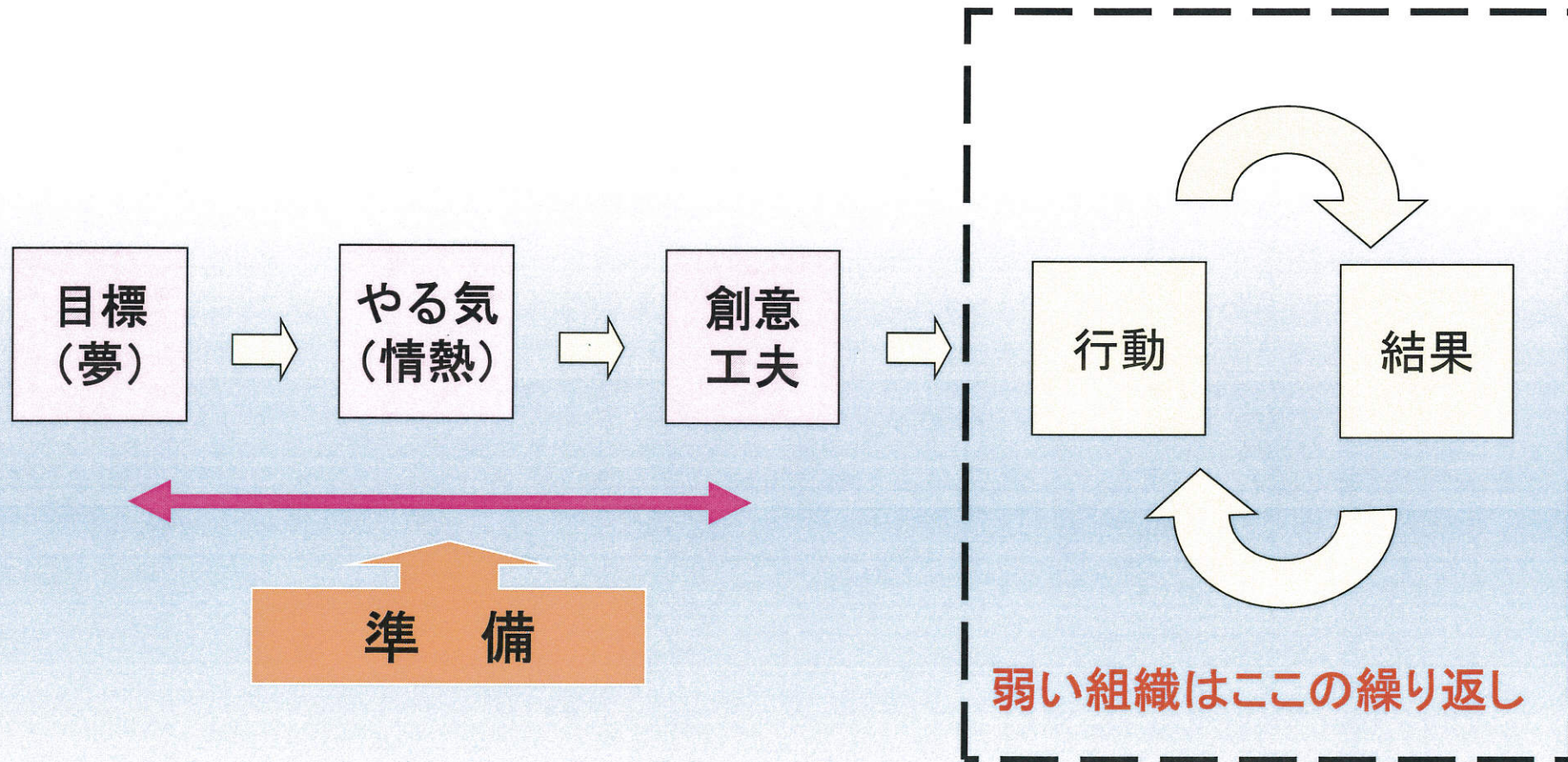
# 90対10のルール





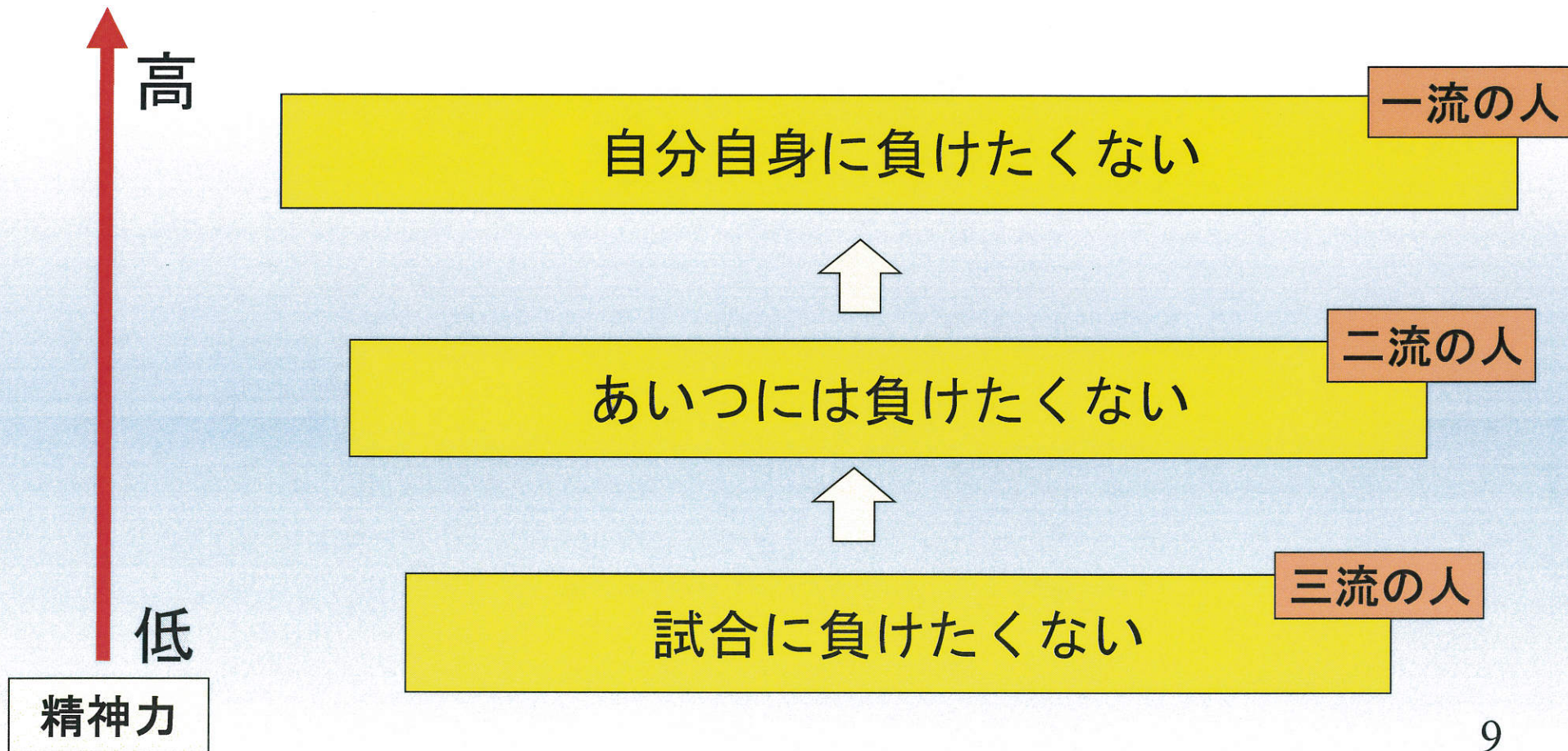
# ビジネスを成功に導くルーティーン

「準備をすること」・・・結果を出すための絶対条件





# もっとも偉大な能力とは自分自身に打ち克つ能力



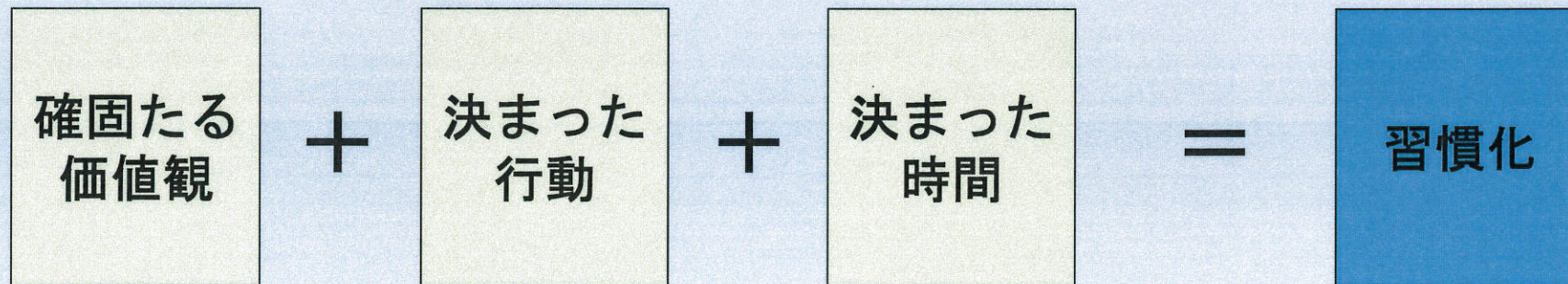


# 結果を出す人のポイント

「変化する」 = 「習慣化する」

「変化することは非常に難しい」

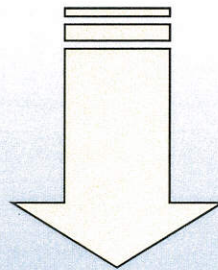
変化するために必要なのは、自制心を養うことではなく習慣を取り入れること



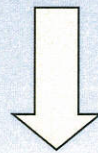


- **正しい考え方**を身につける。
- **正しい行動**を繰り返し行い**習慣化**させる。

「成功への方程式」



自分の方程式を確立させる



結果の出せる人になる



## 結果を出す人のポイント

「当たり前前のことをバカになって

最後までキチンとやる。」



# 「今この瞬間を生きる」

～過去は変えられない。未来はあてにならない。

しかし、「今この瞬間」は何をすべきかは自分で決められる。～



35°Cのぬるま湯をおいしく飲むには？



## 最後に

「バレーボールは人生の縮図である」

人間は身体を動かすと「汗」がでる

人間は心(魂)を動かされると「涙」が出る

一度きりの人生にバレーボールを通じて多くの感動を受けることができる  
人間になりたい！

また、バレーボールの指導を通じて関わった人全員の人生が豊かになる  
ように頑張りたい！